

## 令和8年度 1学期 始業式 式辞

みなさんおはようございます。

皆さんは充実した春休みをすごしましたか。

合宿や研修、家族での旅行など普段を違った環境で過ごした人もいるかと思います。

私はこの春休みはずっと大阪にいましたが、以前よく海外旅行をしていましたので、その時のお話をします。

実は私はペンギンが好きでして、昨年南極の昭和基地と回線をつないで実施した南極教室の折にも体育館にペンギンのぬいぐるみをもっていました。一部の先生からは「ぬい活」していると言われましたが、別にそのようなことはしていませんが、オーストラリアやニュージーランドまで野生のペンギンを見に行ったりはしていました。

みなさんは、「ファーストペンギン (First Penguin)」という言葉を知ることがおありですか。「ファーストペンギン」とは、集団で行動するペンギンの群れの中から、魚を求めため、天敵がいるかもしれない海へ、最初に飛びこむ一羽のペンギンのことを言います。そこから「リスクを恐れずに勇気を持って新しいことにチャレンジする人」を「ファーストペンギン」と呼びます。

以前、私が南半球で見たのは、飛びこむペンギンの姿ではなく、海から上がって巣に戻っていくところのペンギンでした。日が暮れるとペンギンたちは海でのお食事タイムを終えて陸に上がってきます。この戻ってくる時なのですが、まずペンギンたちは沖合で集合します。

じっと海を見ていると、黒くかたまりになった部分ができてきて、しばらくするとペンギンの集団が波打ち際に現れはじめます。

何羽もいるペンギンのうち、どのペンギンが上陸するのか、ためらいがあるのか、そのまましばらくとどまっています。ようやく一羽が上陸して歩き出すと、集団のペンギンが一斉に動き出します。それからはペンギンが列になって浜を横切って歩き、それぞれの陸地の巣に戻っていく姿を観察することができます。自然界のペンギンのパレードは見ていてかわいいものです。

さて、ペンギンを人に置き換えて考えてみると、大勢の人の中で最初に行動を起こすことは確かに勇気が必要ですし、不安があると思います。悩んだとき、ためらいがあるときに、なかなか一歩を踏み出すのは怖いものです。でも、思い切って最初の一歩を踏み出してみる。リスクもあるけれど、その分チャンスも大きいともいえます。

今日はちょうど新年度の始まりです。新しい年度を迎えて、皆さんも何かをやってみたくて、でも迷っているような場合は「ファーストペンギン」という言葉を思い出してほしいと思います。

そして、前例や習慣にとらわれることなく、自分の選んだ道を切り開いてほしいなと思います。踏み出してみたいと思ったらそれは、「ファーストペンギン」となるチャンスです。

進路についても、本当に進みたいと思う道を選んでほしい。踏み出さずに後悔するのではなく、思い切って歩みだしてみてください。もちろんそこは平坦な道ばかりではないと思いますが、一歩踏み出すことで必ず道は開けると思います。この1年を全力で取り組み素晴らしいものにしてください。

以上で私からのことばとします。